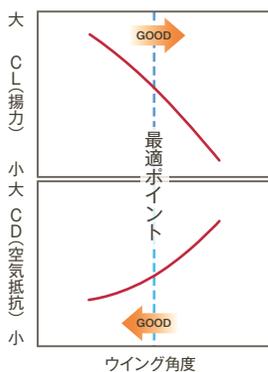


●最大100kgfものダウンフォースを発生し、高速直進安定性を高める大型リアスポイラー。

最高速度まで高いスタビリティを保つシビックTYPE R。その実現に大きく貢献するのが大型リアスポイラーです。ホディー形状との相乗効果で効果的にダウンフォースが得られる翼断面形状としたうえで、CD(空気抵抗)とCL(揚力)のバランスが最適になるようウイングの迎角を1°刻みでチューニング。空気抵抗を抑えながらウイング上面とボディー上面に強力なダウンフォースを発生させます。

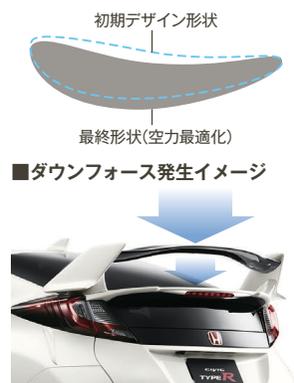


■ウイング迎角の調整



相反する関係のCLとCDを車両全体のバランスを取りながら調整

■ウイング断面形状の最適化



ウイングとボディーで効果的にダウンフォースを発生

●フロントのダウンフォースを高め、操縦性を向上させるフロントオーバーフェンダー。

大径ワイドタイヤによるワイドトレッド化に対応するフロントオーバーフェンダー。大きく張り出した形状でダウンフォースを発生させ、コーナリング時のグリップ限界を高めるとともに、レスポンスのよいハンドリングにも貢献します。また、前部にカット形状を設けることで前面投影面積を減らして空気抵抗を低減。ボディーサイドの整流効果も高めています。



■カット形状



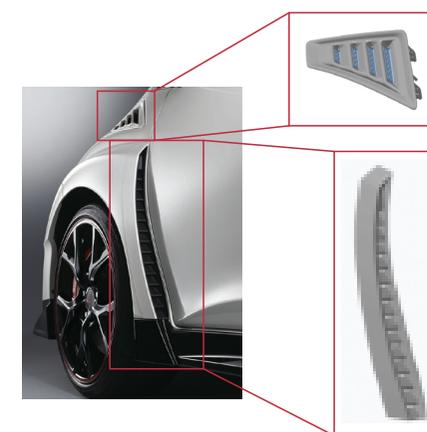
■ボディーサイドへの空気の広がりを抑制



●空力性能を持たせながらエンジンルーム内の排熱性を高めた、フロントフェンダーアウトレット構造。

フロントフェンダーの上部と後部にアウトレット構造を採用しました。エンジンルーム内の熱を効率よく排出することで、エンジン冷却水温低下に貢献。これにより空力に不利に働くフロントグリル開口部を小さくでき、空気抵抗低減と排熱効果を同時に生み出しています。また、アウトレットから排出される細かな空気の渦によって、ボディーサイドの整流効果も得ています。

■フロントフェンダーアウトレット構造



排出口を小さな孔とすることで空気の渦を発生させて空力特性を最適化